

蚤井明

無主物

連作祭壇画



無主物 朝日 2011年8月から制作、現在加筆中

3.11を描く

2016年
10月1日(土)～11月12日(土)



原爆圓丸美術館



埼玉県東松山市下唐子 1401
電話 0493-22-3266
月曜休館 (祝日の場合は翌平日)

壺井明 連作祭壇画 無主物 3.11を描く



無主物 避難指示区域 2011年6月から制作、完成



無主物 仮設のひとびと 2014年12月から制作、2015年8月完成

壺井明(1976年生)は、2011年3月の福島第一原発事故後に飛散した放射性物質を、誰のものでもない「無主物」とであるという東京電力の主張を聞き、無責任さに憤って、3枚のペニヤ板に油絵具で絵を描きはじめた。それが「無主物」のはじまりであった。

最初に絵を発表したのは2012年3月11日。場所は国会議事堂前。脱原発デモに参加し、路上に並べた。そのときの画面と、今の画面を比べると、絵はかなり変化している。壺井は、デモや福島の集団疎開裁判に絵を持参し、出会った人たちから聞いた悩みや証言を、少しずつ描き加えていったのだった。「いつ完成するかはわからない。福島の苦悩が続く限り、描き続けたい」と壺井は言った。

2013年2月から4月にかけて、丸木美術館の一室で、特別展示「無主物」が開かれた。たった1点の絵の展示であったが、反響は大きかった。それから3年半の歳月が流れた。「無主物」は連作となり、壺井は街へ出て絵を並べ、道行く人びとに語り続けていた。福島原発事故は、いまだ終息していない。壺井の制作も終わらない。

今回の展示会は、「無主物」連作の中間報告である。

〈会期中の企画〉

●10月22日(土) 午後2時 早川篤雄講演会 参加費500円
「危惧の実像 原発事故は楡葉町をどう変えたのか」

福島第一原発から20^{km}圏内にあたる楡葉町大谷在。室町時代1395年の開山から620年を数える浄土宗大院山智宝院宝鏡寺第30代住職。1975年福島第二原発設置許可の取り消しを訴える「福島原発訴訟」原告団事務局長を務め、以後40年に渡り楡葉町で反原発運動を展開。最高裁の上告棄却から20年近くが過ぎた2011年3月11日、福島第一原発事故が発生。3月12日午前の避難指示以降避難民となり、それまで運営していた障害者施設の入居者94名をうけつ身としても原発事故の苛酷さを体験する。

2012年7月、原発廃止を求める宗教者共同声明、呼びかけ人。現在「福島原発避難者損害賠償請求訴訟」原告団長。「無主物」制作のため壺井がこれまで話をうかがってきた福島現地人の一人。

●10月29日(土) 午後2時 壺井明ギャラリートーク
画家みずからが、「無主物」に描きこんだ現代の福島の「民話」を語る。

●11月5日(土) 午後2時 岡崎弥保「無主物」朗読
俳優・語り手の岡崎弥保が、「無主物」に添えられた言葉を朗読する。

※両日とも参加自由(当日の入館券が必要です)。

チラシ持参の方は、美術館入館料が100円引になります

公益財団法人 原爆の図 丸木美術館

5月5日は開館記念日・8月6日はひろしま忌

[常設展] 「原爆の図」連作

「水俣の図」

「南京大虐殺の図」

「アウシュビッツの図」

「水俣・原発・三里塚」

絵本原画、丸木スマ水彩画等

[開館時間] 午前9時～午後5時

[休館日] 月曜日(祝日の場合は翌平日)

[入館料] 大人900円 中高生または18歳未満600円
小学生400円 団体(20名以上)、60歳以上、
チラシ持参者、比企地区在住者100円割引
障碍(しょうがい)のある方は半額

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401
TEL 0493-22-3266 FAX 0493-24-8371

[URL] <http://www.aya.or.jp/~marukimsn/>
[Eメール] marukimsn@aya.or.jp

[交通] ●東武東上線森林公園駅
南口よりタクシー10分、徒歩50分
●東武東上線東松山駅・高坂駅より
市内循環バス唐子コース(日祝運休)
「浄空院入口」「丸木美術館北」下車
●関越自動車道
東松山インターより小川方面10分
●東武東上線つきのお駅南口から
徒歩27分、詳細は丸木美術館にお問い合わせ下さい

【市内循環バス唐子コース時刻表】

○丸木美術館行き(日祝運休)
08:05 東松山駅東口→08:22 浄空院入口
11:12 東松山駅東口→11:29 浄空院入口
12:07 高坂駅西口→12:25 丸木美術館北
13:12 東松山駅東口→13:29 浄空院入口
15:22 高坂駅西口→15:40 丸木美術館北
※帰りの時刻はお問い合わせ下さい。

